



7月3日(日)

## 迅速・正確な消防技術競う 第62回鳥取県消防ポンプ操法大会

第1分団健闘、第6位

### 第

62回鳥取県消防ポンプ操法

大会が7月3日(日)、鳥取県消防学校で開催されました。この大会では、消防団員の技術の向上と士気の高揚を目的に、消防団員が消防技術の迅速さ・正確さを競います。



▲県大会で第6位と健闘した伯耆町消防団第1分団

この日は、先月開催された県内の地区大会を勝ち上がり、県大会の出場権を手にした23隊が集まりました。伯耆町からは、西部地区大会で優勝した第1分団が、ポンプ車操法の部に出場しました。

ポンプ車操法は、5人1組で、給水・放水・撤収という一連の動作がいかに速く正確にできるかを競います。競技の結果、第1分団は第6位と健闘しました。

6月15日(水)

## 「しいたけ作りは私の生きがい」

影山千世子さん、「第49回全農乾椎茸品評会」

上どんこの部入賞

### 全

国の乾椎茸生産者の技術と生産意欲の向上を目指し、全国農業協同組合連合会が毎年開催している「全農乾椎茸品評会」が6月15日(水)、久喜総合文化会館(埼玉県久喜市)で開催されました。全国364品の干しいたけができて栄えを競い、かさの大きさや色、厚みなどを審査されました。このうち、上どんこの部に出品した伯耆町の影山千世子さん(74)が、全国第3位に相当する全農会長賞を受賞しました。

影山さんが生産するしいたけは、数々の大会で常に上位入賞を果たしており、同品評会では今回で11年連続の入賞となりました。しいたけ栽培21年目を迎えた影山さんに、高品質のしいたけを作り続ける秘訣を聞くと、「これまで支えてくださった方への恩返しのため。しいたけ作りを通して出会った人たちは私の宝。しいたけ作りは私の生きがいです。これからもういっしょにたくさん作り続けたい」と話しました。



▲「来年も挑戦したい」と話してくれた影山千世子さん



▲数々の品評会で高評価を受ける影山さんの上どんこ

7月5日(火)

## 森林保全の大切さ学ぶ

岸中生3人が丸山生産森林組合で4日間林業体験

### 岸

本中学2年の天野修輔くん、中島海斗くん、足立亮介くんが7月5日(火)から4日間、丸山生産森林組合で職場体験学習を行いました。3人は、炭作りや下草刈り、枝打ちなどの作業を通じて、森林保全の大切さを学びました。

「普段見たり触れたりする機会がない森林に係る仕事をしてみたい」と参加した足立くんに感想を聞くと、「枝打ちを終えて、きれいになった木を見たときは、やりがいを感じた」と話しました。

約15年前から職場体験の受け入れをしている同組合長・奥田英雄さん(75)は「木は家を建てるためだけのものではなく、豊かな水を育む。子や孫の世代にきれいな山を残せるよう、自然の大切さを伝えたい」と話しました。

なお、この体験の費用の一部に、森林を県民みんなで守り育てるための「森林環境保全税」が活用されました。



▲3mのハシゴに登って枝打ちをする足立くん



▲丸山生産森林組合の皆さんと岸中生(左から足立くん、天野くん、中島くん)